

モンゴル

2009年第3四半期には、世界経済・金融危機によるモンゴル経済の収縮に、若干緩和の傾向が見られるようになったが、本格的な回復にはまだ長い道のりが残されている。インフレ率の持続的な低下、貿易額の回復、比較的安定した為替レートといった状況にも関わらず、第3四半期のGDPは再びマイナスとなった。産業生産額は7月に過去最大の減少を記録した後、その減少幅を縮小している。しかし、失業者数は増加を続けている。一方、国家財政収支の赤字は前期よりは縮小している。国家統計局は2009年のGDP成長率をマイナス1%と予測している。

国内総生産 (GDP)

第3四半期のモンゴルの実質GDPは、前年同期比3.8%減となった。GDPの減少は、農業を除く全ての部門の生産活動の減少によるものである。累積で見ると1-9月期のGDPは2.2%減となった。鉱工業・建設業の付加価値額は前年同期比7.8%減、農業は3.6%増、サービス業は0.7%増となっている。同時期の各部門の生産物に対する純課税額(補助金を除く)は、前年同期比9.1%減となった。

インフレ・為替レート・失業

消費者物価を基準としたインフレ率は、8月には前年同期比0.6%、9月には同0.0%に低下した。消費者物価指数の中で大きなシェアを占める食料品・非アルコール飲料は前年同期比で7.5%低下し、運輸サービスは同じく6.4%低下した。住宅、水道、電力、燃料は前年同期と同レベルに止まった。しかしその他の品目は前年同期比で、それぞれ4.8~120.8%上昇した。

9月末時点で通貨トゥグルグの対米ドル為替レートは、1ドル=1,426トゥグルグで、7月の同1,455トゥグルグから増価した。これは前年同月比24.4%の減価である。またトゥグルグは同時期に、中国元に対しては前年同期比24.4%減価し、ロシアルーブルに対しては同4.5%増価した。

9月末の登録失業者数は40,354人で、前年同月を27.1%上回っている。登録失業者の半数以上が失職によるもので、残りが新規登録によるものである。登録失業者のうち、56.6%が女性である。同時期に85か国からの21,500人の外国人労働者が、モンゴル国内で雇用されている。このうち中国籍の労働者が85.3%で大多数を占め、その他はロシア3.2%、韓国2.1%、米国1.2%、北朝鮮0.9%、日本0.7%となっている。

国家財政

2009年第3四半期の財政収支の赤字は、前期の1,540億トゥグルグから710億トゥグルグに縮小した。1-9月期の財政収入は前年同期を17.8%下回り、財政支出は前年同期を2.6%上回った。財政収入の低下は主に、市場価格が高騰した際に金及び銅の輸出に課税される臨時収益税が73.5%、法人税が35.4%、付加価値税が3.0%、それぞれ減少したことによる。一方で税外収入は前年同期を27.1%上回った。これは前年同期の3.1倍となった株式配当、同じく86.2%上回った航空管制収入の増加によるものである。同時期の財政支出の増加は、主に前年同期を9.4%上回った賃金・給与と、同じく8.1%上回った補助金によるものである。しかし投資支出は、国内財源による投資が前年同期比6.6%減少したことにより、同6.1%の減少となっている。

産業生産額

産業生産額は前年同月比で、2008年11月から11か月連続で減少を記録している。ただし9月は前年同月比12.4%減で、7月の同14.8%減から減少幅は縮小した。1-9月の産業生産額は前年同期比10.5%の減少となった。製造業は前年同期比27.8%減、鉱業は同2.4%減となった。一方、エネルギー・水供給部門は同1.5%の成長を達成した。

9月末時点で産業部門の雇用は48,700人であった。これは前年同月を人数で2,700人、率にして5.3%下回っている。

外国貿易

9月のモンゴルの貿易総額は輸出、輸入両方の増加により若干回復し、4.26億ドルとなった。しかしこれは前年同月を31.5%下回っている。1-9月の貿易総額は280億ドルで、前年同期を36.6%下回った。このうち輸出は前年同期比33.9%減、輸入は同38.8%減となった。また貿易収支の赤字額は3.33億ドルとなった。

1-9月のモンゴルの輸出先は63か国、輸入先は102か国であった。輸出先構成比は中国が72%、英国9.5%、カナダ6.4%、ロシア2.7%、韓国0.5%、日本0.3%となっている。輸入先構成比はロシア33.7%、中国25.1%、韓国7.6%、日本4.5%となっている。

2009年初頭の未加工カシミアに対する輸出税の撤廃により、この品目の1-9月の輸出数量は前年同期比で2倍、輸出額は同34.4%増となった。しかし、同時に加工カシミアの輸出額は29%減少し、さらに未加工品は加工品よりも価格が低く、撤廃措置の輸出全体に対する効果は限定的なものに止まった。同時に国内における付加価値の減少は経済全体にマイナスの影響を与える。したがってモンゴルに

においては、輸出品の付加価値をさらに増加させる政策が必要とされる。

(ERINA調査研究部研究主任 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年1Q	2Q	3Q	1-9月	2009年8月	9月
実質GDP成長率 (対前年同期比：%)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲ 4.2	0.7	▲ 3.8	▲ 2.2	-	-
産業生産額 (対前年同期比：%)	▲ 4.2	9.1	9.7	2.8	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 13.6	▲ 10.5	▲ 13.8	▲ 12.4
消費者物価上昇率 (対前年同期比：%)	9.5	6.0	15.1	22.1	16.3	6.3	0.0	0.0	0.6	0.0
登録失業者 (千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	34.8	39.5	40.4	40.4	40.5	40.4
対ドル為替レート (トゥグルグ)	1,221	1,165	1,170	1,268	1,524	1,436	1,429	1,426	1,429	1,426
貿易収支 (百万USドル)	▲ 113	107	▲ 114	▲ 710	▲ 72	▲ 58	▲ 61	▲ 191	▲ 22	▲ 4
輸出 (百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	322	441	531	1,294	160	211
輸入 (百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	394	499	592	1,484	183	215
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	73	123	133	▲ 306	▲ 107	▲ 154	▲ 71	▲ 333	▲ 53	2
国内貨物輸送 (百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	1,777	2,404	2,304	6,485	-	-
国内鉄道貨物輸送 (百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	1,686	2,061	2,036	5,783	707	676
成畜死亡数 (千頭)	677	476	294	1,641	598	840	72	1,510	-	-

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、為替レートは期末値。産業生産額は、鉱業、製造業、エネルギー・水供給部門を含む。
(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか